

クレジット:

UTokyo Online Education 学術俯瞰講義 2017 堀内秀樹

ライセンス:

利用者は、本講義資料を、教育的な目的に限ってページ単位で利用することができます。特に記載のない限り、本講義資料はページ単位でクリエイティブ・コモンズ 表示-非営利-改変禁止 ライセンスの下に提供されています。

<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/>

本講義資料内には、東京大学が第三者より許諾を得て利用している画像等や、各種ライセンスによって提供されている画像等が含まれています。個々の画像等を本講義資料から切り離して利用することはできません。個々の画像等の利用については、それぞれの権利者の定めるところに従ってください。

「2017年度Aセメスター学術俯瞰講義 文化資源、文化遺産、世界遺産」

文化遺産・世界遺産を結節する 文化資源・陶磁器

東京大学埋蔵文化財調査室
堀内秀樹

文化遺産・世界遺産を結節する 文化資源・陶磁器

**「文化資源」、「文化遺産」、「世界遺産」は同じ
ベクトルを持ったものなのか？**

→何を資源と考えるのか？

何に対する資源ととらえるのか？

※あくまでも今日的評価の中で差別化

文化遺産・世界遺産を結節する 文化資源・陶磁器

評価の重要性：人間の活動がどのように 行われたのか？

→それにもとまって形成された視点、規範、嗜好
→無形文化遺産

生産・消費された形象資料

ex, 構造物(単体、複合)→世界遺産
組織・技術→無形文化遺産
モノ→？

文化遺産・世界遺産を結節する 文化資源・陶磁器

○行為の痕跡化

→種々の評価資料(=文化資源)となる



総体を評価する視座

1. 人間の活動を探る文化資源・陶磁器

(1) 文化とは？

「人間が自然に手を加えて形成してきた物心両面の成果。衣食住をはじめ科学・技術・学問・芸術・道德・宗教・政治など生活形成の様式と内容とを含む。文明とほぼ同義に 用いられることが多いが、西洋では人間の精神的
生活にかかわるものを文化と呼び、技 術的發展のニュ
アンスが強い文明と区別する。」(広辞苑第六版)

○飛鳥文化、天平文化、白鳳文化、元禄文化etc.

→連想するものは？



photo by Janine Cheung, from flickr ref.20180116
https://www.flickr.com/photos/sunday_driver/142841397/
CC BY-NC-SA 2.0

文化の理解

著作権等の都合により、
ここに挿入されていた画像を削除しま
した

雷紋の入った井の図



文化の意識と無意識

- ・作られた文化－認知されやすい、流行の創出
ex, 千利休(1521～1591)、古田織部(1544～1615)、
小堀遠州(1579～1647)
- ・できた文化－認知されにくい

→行為と道具

(2) 日本を取りまく諸環境

① 自然的環境：自然的、地理的

ex, 日本の地理的位置→東アジアの東縁

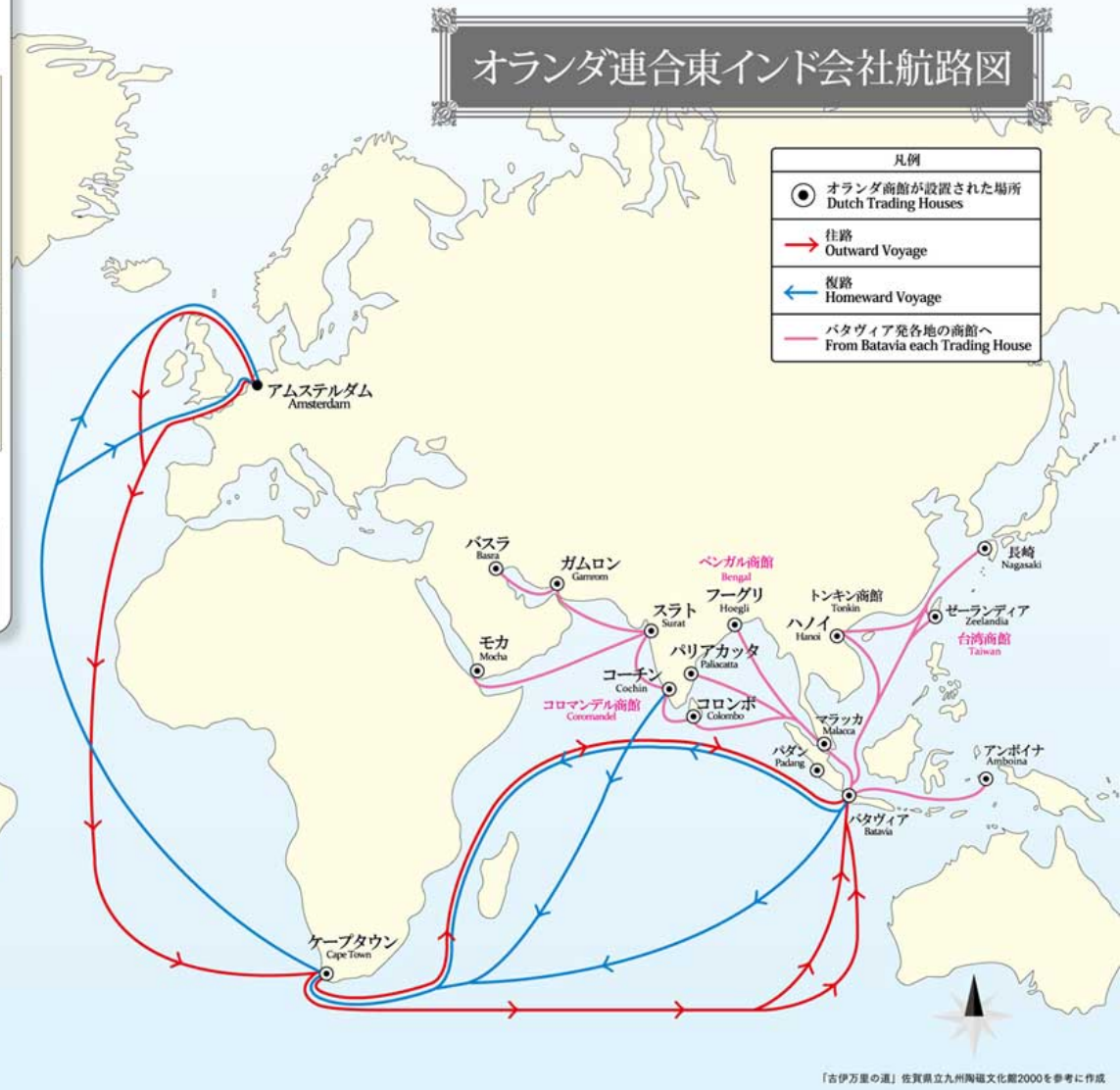
- ・日本より東・北に国際関係に影響するような国(市場)が存在しない
- ・対外交流は常に西あるいは南と
→近世末の黒船来航まで
(移動のシステムにより変化)

「古伊万里」を収集した ヨーロッパの宮殿と主要窯業地



凡例	
●	主要都市 Major cities
●	古伊万里を収蔵する宮殿 Palaces with Old Imari ware in their collection
●	主要窯業地 Ceramic production areas

オランダ連合東インド会社航路図



凡例	
●	オランダ商館が設置された場所 Dutch Trading Houses
→	往路 Outward Voyage
←	復路 Homeward Voyage
—	バタヴィア発各地の商館へ From Batavia each Trading House

「古伊万里の道」 佐賀県立九州陶磁文化館2000を参考に作成

日本経済新聞社主催「日本磁器ヨーロッパ輸出350周年記念 パリに咲いた古伊万里の華展」(2009～2010)の図録から転載

(2) 日本を取りまく諸環境

② 人文的環境：歴史的、経済的、社会的、 文化的・・・

※ 独自の歴史的成立・発展過程
(時代、地域＝キーワード)

→ 人間の活動(社会的・経済的・文化的)
に大きな影響を与えている

→ その範囲を正確に理解する必要

(2) 日本を取りまく諸環境

②人文的環境：歴史的、経済的、社会的、
文化的・・・

こうした影響下で歴史的展開がある。
(先史時代、古代、中世、近世、近代)

1. 人間の活動を探る文化資源・陶磁器

(3) 多地域をつなぐ交易

- ・景德鎮(中国)、漳州窯(中国)、伊万里(日本)
 - ・アユタヤ(タイ)、ホイアン(ベトナム)、長崎・平戸(日本)
 - ・江戸(日本)、首里(琉球)、アムステルダム(オランダ)
- (太字は世界遺産)

→文化資源である陶磁器の動きから影響を探る

1. 人間の活動を探る文化資源・陶磁器

(3) 多地域をつなぐ交易

※交易・流通・交流に対しての上位概念は？

:文化、経済、社会？

→モノの移動と文化の移動

→外来と在地化

ex, 鎖国とは？

1. 人間の活動を探る文化資源・陶磁器

貿易陶磁器とは？

→ 輸出入された陶磁器

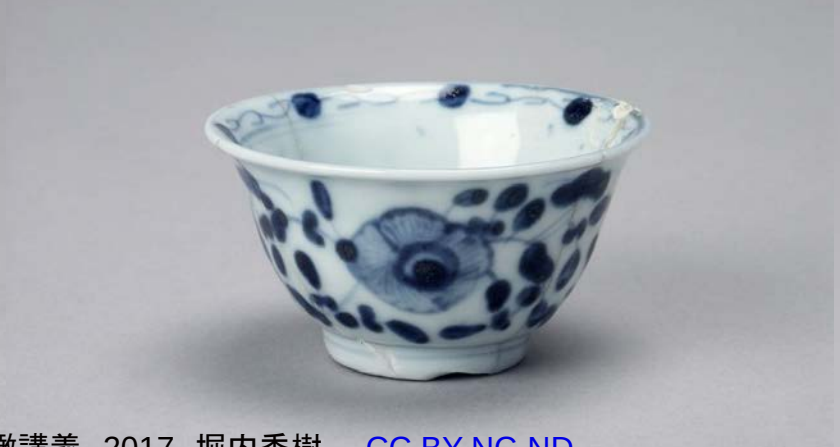
その中心は磁器

(磁器生産可能国：中国、朝鮮、日本)

※中国磁器が規範となる国際貿易商品

→中国磁器を模倣する磁器、陶器が各地で生産される





中国の窯業地

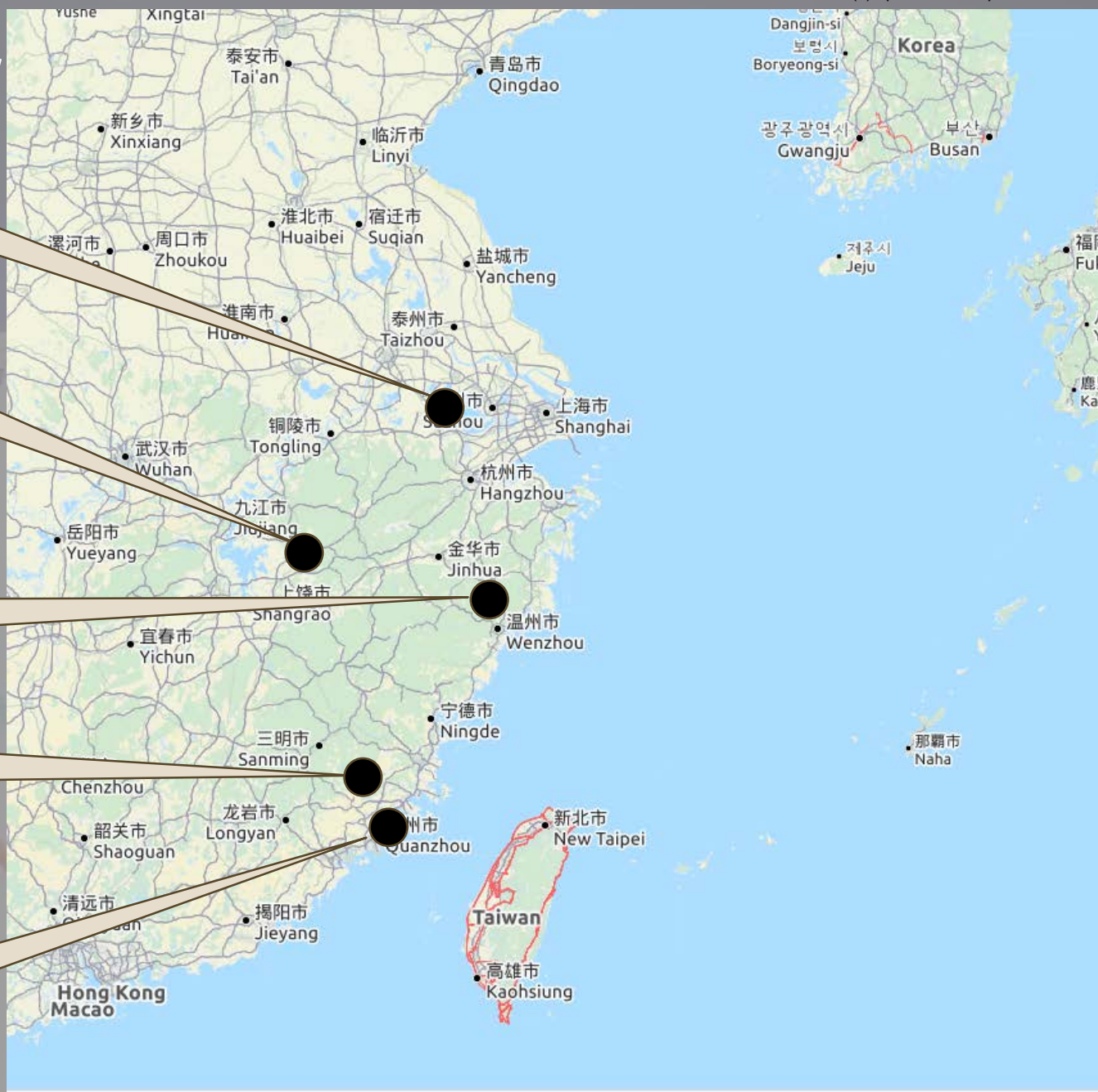
宜興窯

景德鎮窯

龍泉窯

徳化窯

漳州窯



2. 国際関係の変化と各地に流通する貿易陶磁器

※周辺地域との国際関係が中世末から大きな変化



日本の政治・経済に大きな影響

2. 国際関係の変化と各地に流通する貿易陶磁器

①16世紀後半の国際関係

○中国

- ・明の海禁政策：朝貢貿易システムと倭寇
→琉球の優位性と密貿易
- ・税制の改革：一条鞭法の施行
→銀の需要

○日本

- ・金・銀の産出量増加
→東アジアで重要な一員、技術、文化の急速な流入
- ・多元的な貿易管理（大友、大内、島津、織田など）

○ヨーロッパ勢力の参入

- ・国際関係の複雑化

2. 国際関係の変化と各地に流通する貿易陶磁器

②17世紀前葉から中葉の国際関係

○中国

- ・明・清の動乱、鄭氏の影響
→清による海禁策

○日本

- ・徳川氏による天下統一
→一元的な貿易管理

○ヨーロッパ勢力

- ・オランダに淘汰
→宗教と隔離

2. 国際関係の変化と各地に流通する貿易陶磁器

③17世紀中葉から後葉以降の国際関係

○中国

- ・清の統一
→清による海禁策解禁

○日本

- ・徳川氏による貿易統制
→小中華的国家戦略(朝鮮、琉球)
→資源の枯渇化

○ヨーロッパ勢力

- ・日本の位置的变化
→ロシア、アメリカなど

(2) 近世東アジアの貿易ネットワーク

- 中国:ジャンク船
→アジア貿易
- 朝鮮:歳遣船他
→アジア貿易
- オランダ:オランダ東インド会社
→アジア貿易＋アジア－ヨーロッパ貿易
- スペイン:ガレオン船
→アジア－新大陸－ヨーロッパ貿易
- イギリス:18世紀以降参入
→アジア(インド)－ヨーロッパ貿易

明暦 3 年（1657）長崎貿易販売品

Collection online mizusashi Photo by the British Museum ref.20180117
http://www.britishmuseum.org/research/collection_online/collection_object_details.aspx?objectId=774256&partId=1&searchText=shonzui&page=1
 CC BY-NC-SA 4.0

	唐船貿易の 販 売 品	オランダ船貿易の 販 売 品	合 計
糸 類	116,633斤 70束	126,518斤	243,151斤 70束
反 物	61,032反	10,759 $\frac{1}{3}$ 反	71,791 $\frac{1}{3}$ 反
薬・香・胡椒・蠟	863,567斤 434個	93,748斤	957,315斤 434個
砂 糖	712,960斤 430壺	490,879斤	1,203,839斤 430壺
染 料 ・ 漆	1,640,850斤	126,450斤	1,767,300斤
金 属 ・ 鋳 物	145,000斤	5,813斤	150,813斤
角 類	11,386本 1,060斤	20,102本 1,137斤	31,488本 2,197斤
皮 革	136,583枚	219,314枚	355,897枚
動 物	1,056匹		1,056匹
飲 食 物	520斤	90ガンタン	520斤 90ガンタン
そ の 他			
はんや	14,070斤		14,070斤
パトナ、クイナム、 カンボジアの籐	2,165束		2,165束
シナめがね	150		150
紙に描いた絵	9包		9包
漢 籍	45包		45包
こまもの	192箱と包		192箱と包
シナ紙	84包		84包
シナ扇子	51		51
シナの香炉	66箱		66箱
珊 瑚		1オンス	1オンス
ケース付き鼻めがね		14個	14個
望遠鏡		3個	3個

石田千尋「長崎貿易の精華ーその輸入品をめぐるー」
 (『鎖国・長崎貿易の華』神戸市立博物館、1994年)p107、表1

2. 国際関係の変化と各地に流通する貿易陶磁器

※対日貿易品は、輸出入とも国が
変わっても大きく異なっていない
→対日貿易ネットワークの特徴

アジア間貿易が中心
→オランダは日本とアジア間貿易を行っている

2. 国際関係の変化と各地に流通する貿易陶磁器

(3) 日本

①江戸

中国、朝鮮、琉球、タイ、ミャンマー、ベトナム、
ヨーロッパなど

※近世に最も多く流通・消費された生産地は中国

2. 国際関係の変化と各地に流通する貿易陶磁器

○近世初頭に日本の(貿易)陶磁器流通の大きな画期

→日本の独自性の形成

- ・肥前磁器の生産開始

→1610年代

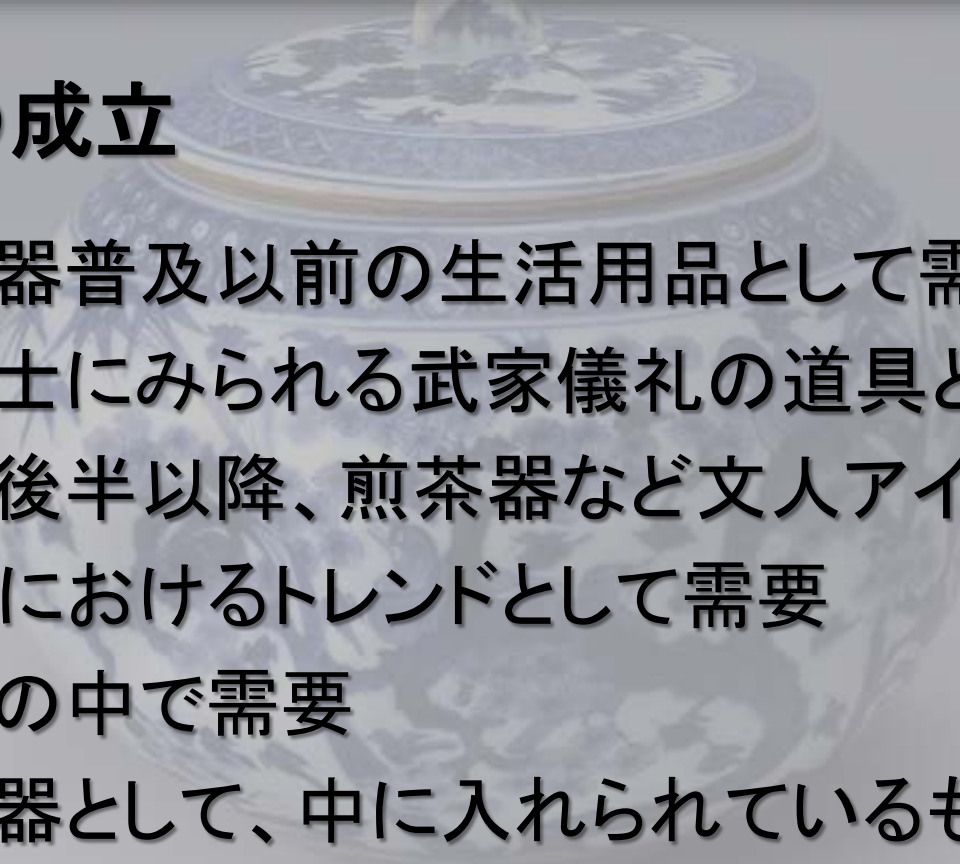
- ・中国からの磁器輸入減少・停止

→17世紀中葉～

*** 日本国内の磁器需要は、17世紀中葉以降
ほぼ肥前磁器によって充足**

2. 国際関係の変化と各地に流通する貿易陶磁器

・茶の湯の成立

- 
- ① 肥前磁器普及以前の生活用品として需要
 - ② 上級武士にみられる武家儀礼の道具として需要
 - ③ 18世紀後半以降、煎茶器など文人アイテム、
遊興地におけるトレンドとして需要
 - ④ 茶の湯の中で需要
 - ⑤ 流通容器として、中に入れられているものの需要

2. 国際関係の変化と各地に流通する貿易陶磁器

ex, 茶 座敷飾りの近世的変容と茶の湯

・『君台観左右帳記』に書かれた座敷飾り

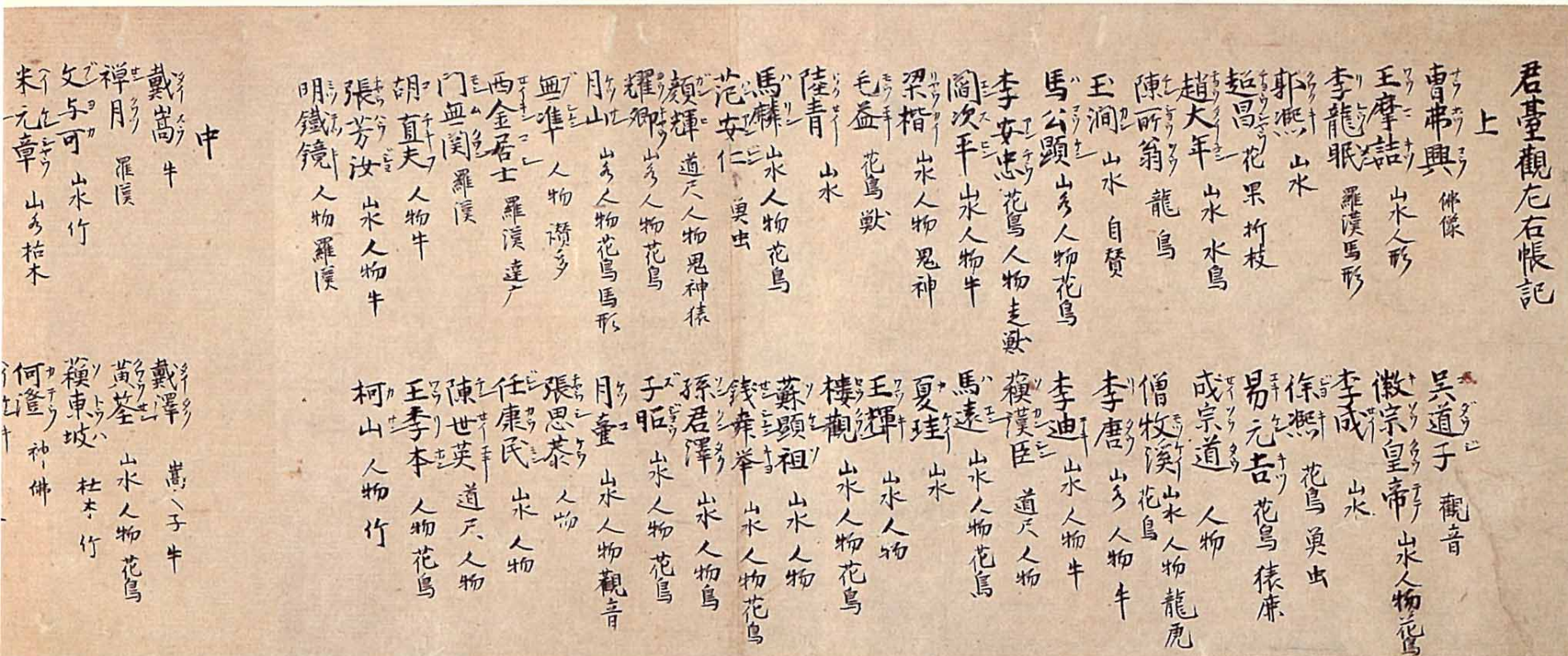
→ 16世紀初頭に成立

→ 同朋衆の能阿彌、相阿彌が編纂した
室町将軍の室礼の規範書

→ 器物の賞翫が中心

→ 唐物の評価

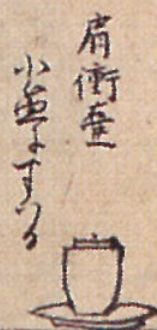
2. 国際関係の変化と各地に流通する貿易陶磁器



「君台觀左右帳記」国立歴史民俗博物館所蔵

一間透棚

障ふ
より



食鉢



一間 遠棚

テト名
ろ

六連壺
中大海
茶も煮
す



ういさ
太二
月臺
方子
す

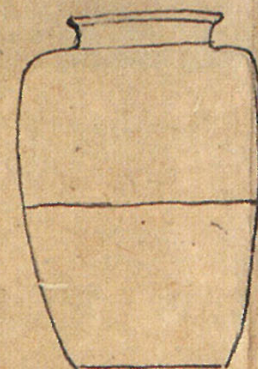


食器
貝

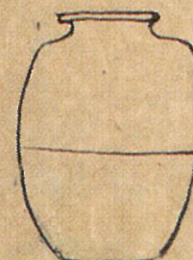


一 抹茶臺の形

大肩衝
カタツツキ



やうしやん



丸ふ



ちてい



すいてき
水滴



ちてい
ちてい

ちてい
ちてい



ていめ
手



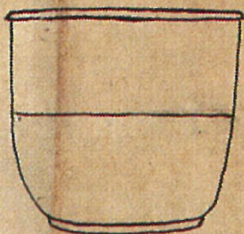
えいこ



ゆに



ほんど



一乗谷朝倉館跡出土

国立歴史民俗博物館 2005 『東アジア中世海道 海商・港・沈没船』
p162III45 一乗谷発掘の舶来陶磁器
所蔵：福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館



一乗谷朝倉館跡出土

国立歴史民俗博物館 2005 『東アジア中世海道 海商・港・沈没船』

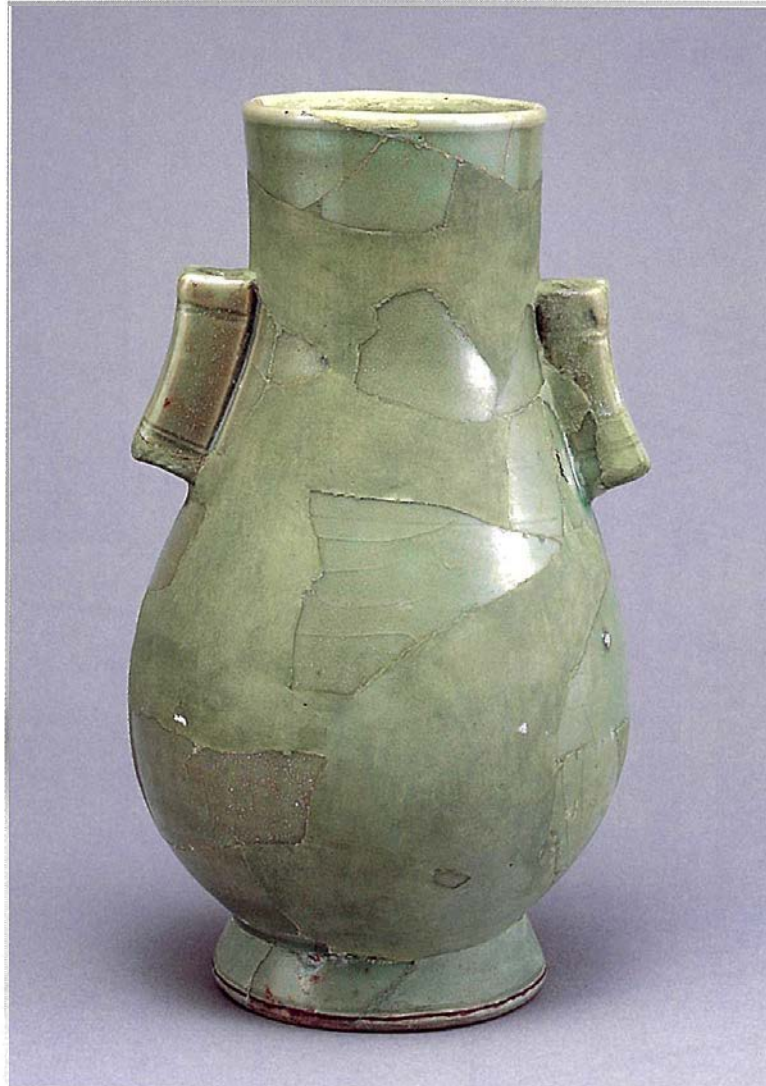
p162III45 青磁鯨耳花生

所蔵: 福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館



一乗谷朝倉館跡出土

国立歴史民俗博物館 2005 『東アジア中世海道 海商・港・沈没船』
p162III45 青磁管耳花生
所蔵: 福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館



一乗谷朝倉館跡出土

国立歴史民俗博物館 2005 『東アジア中世海道 海商・港・沈没船』

p163III45 中国茶壺・茶入・天目茶碗

所蔵: 福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館

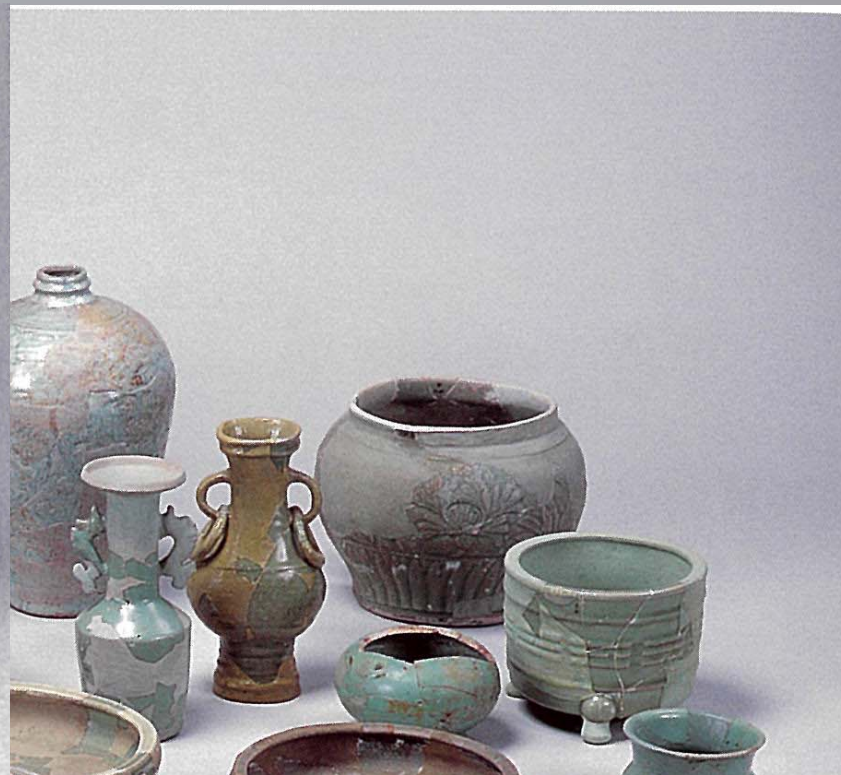


一乗谷朝倉館跡出土

国立歴史民俗博物館 2005 『東アジア中世海道 海商・港・沈没船』

p163III45 青磁太鼓胴盤

所蔵: 福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館



2. 国際関係の変化と各地に流通する貿易陶磁器

ex, 茶 座敷飾りの近世的変容と茶の湯

・茶の湯 千利休

→ 武家権力との接近による町人茶の権威化

→ 武家儀礼の中に茶の湯が位置づけ

2. 国際関係の変化と各地に流通する貿易陶磁器

○長崎 ー輸出資料: 栄町遺跡ー

1663年(寛文3年)の火災資料

- ・1571年、大村純忠、イエズス会によって建設
※当初から貿易港として発展
キリシタンとの関係→キリシタンの禁令
- ・1639年、ポルトガル人強制退去
- ・1641年、オランダ商館が平戸から移転

西暦	和暦	船	品名	個数	単位	備考
1641	寛永18年	安海船	茶碗	1400	個	
1641	寛永18年	安海船	茶壺	70	個	
1641	寛永18年	安海船	茶壺	80	個	
1641	寛永18年	福州船	茶壺	80	個	
1641	寛永18年	福州船	茶壺	710	個	
1641	寛永18年	広東船	茶壺	2	個	
1642	寛永19年	福州船	茶壺	78	個	
1643	寛永20年	南京船	陶器	11	俵	
1646	正保3年	福州船	粗陶器	若干		
1646	正保3年	福州船	茶壺	若干		
1646	正保3年	南京船	陶器・雑貨	12	籠	
1646	正保3年	福州船	陶器	若干		
1647	正保4年	福州船	茶壺	1	個	正保3年に記載
1649	慶安2年	福州船	粗陶器	5	枚	
1650	慶安3年	漳州船	茶壺	6	個	慶安2年に記載
1650	慶安3年	福州船	皿	5	枚	
1650	慶安3年	漳州船	茶壺	10	個	
1650	慶安3年	漳州船	陶器	7	包	
1650	慶安3年	福州船	茶壺	10	個	
1651	慶安4年	舟山船	粗陶器	7	枚	
1651	慶安4年	福州船	粗陶器	20	包	
1651	慶安4年	福州船	中国水差し	1	箱	
1652	承応1年	福州船	各種粗陶器	20	包	
1653	承応2年	東埔寒船	茶碗	47	束	
1653	承応2年	南海船	粗陶器	342	束	
1653	承応2年	福州船	陶器	4	束	
1653	承応2年	東京船	各種茶碗	82	束	
1654	承応3年	南海船	茶壺	2	個	
1654	承応3年	南京船	茶壺	36	個	
1654	承応3年	福州船	陶器	200	斤	
1655	明暦1年	安海船	オランダ水差し	5	個	
1657	明暦3年	福州船	花模様鉢	15	個	
1657	明暦3年	安海船	茶壺	2	俵	
1657	明暦3年	安海船	珍奇茶壺	1	個	
1660	万治3年	安海船	茶壺	9	個	
1660	万治3年	羅船	茶壺	1	個	シヤム船
1663	寛文3年	安海船	陶器	20	箱	
1666	寛文6年	船1隻	茶壺	2	個	
1749	寛延2年	二番乍浦船	中国陶器	67	俵	
1753	宝暦3年	四番乍浦船	陶器	4	包	
1753	宝暦3年	九番乍浦船	各種陶器	27	包	
1754	宝暦4年	十四番乍浦船	陶器	46	包	
1754	宝暦4年	二十六番南京船	皿	96	枚	
1754	宝暦4年	二十八番乍浦船	カントン陶器	6	箱	

Collection online mizusashi Photo by the British Museum ref.20180117
http://www.britishmuseum.org/research/collection_online/collection_object_details.aspx?objectId=774256&partId=1&searchText=shonzui&page=1
 CC BY-NC-SA 4.0



長崎市栄町遺跡 焼土層(V層)掘り下げ

長崎県教育委員会協力

(『栄町遺跡』長崎県文化財調査報告書第162集 2001 CD-ROM V層掘り下げ2)



長崎県教育委員会協力

長崎市栄町遺跡火災層(V層)出土資料

(長崎県教育委員会2001栄町遺跡より)



V層(V層)出土資料

UTokyo Online Education 学術俯瞰講義 2017

長崎県教育委員会協力 堀内秀樹 [CC BY-NC-ND](#)







長崎市栄町遺跡火災層(V層)出土資料

長崎県教育委員会協力

(『栄町遺跡』長崎県文化財調査報告書第162集 2001 CD-ROM246a)



長崎市栄町遺跡火災層(V層)出土資料

長崎県教育委員会協力

(『栄町遺跡』長崎県文化財調査報告書第162集 2001 CD-ROM264a)



長崎県教育委員会協力

長崎市栄町遺跡火災層(V層)出土資料

(『栄町遺跡』長崎県文化財調査報告書第162集 2001 CD-ROM266-

UTokyo Online Education 学術俯瞰講義 2017 堀内秀樹 [CC BY-NC-ND](https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/)

271)



長崎県教育委員会協力

長崎市栄町遺跡火災層(V層)出土資料

(『栄町遺跡』長崎県文化財調査報告書第162集 2001 CD-ROM297a)

UTokyo Online Education 学術俯瞰講義 2017 堀内秀樹 [CC BY-NC-ND](https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/)

袋町遺跡



	種 別	破片数	図4の番号
粗製染付	染付雲龍・鳳凰見込荒磁文碗	5506	1
	染付雲龍見込荒磁文鉢	22	
	染付芙蓉手大皿	200	
	染付日字鳳凰文皿	5	
	染付蓋付筒形碗	40	
	粗製品小計	5773	
染付	染付鳳凰文皿	2	
	染付日字鳳凰・唐草文皿	11	
	染付その他	916	
	染付燭台	125	3・4
	染付小計	1054	
白磁	白磁燭台	199	2
	白磁その他	3	
	白磁小計	202	
瑠璃釉	瑠璃釉ツバメ形合子	16	7・8
	色絵瑠璃釉丸形合子(中)	35	9
	色絵瑠璃釉丸形合子(小)	6	
	色絵瑠璃釉蓋付小壺	78	10
	色絵瑠璃釉その他	9	
	色絵瑠璃釉蓋付鉢	503	6
	色絵瑠璃釉小計	647	
色絵	色絵唐草花文碗	7	
	色絵花文蓋付鉢	478	5
	色絵その他	6	
	色絵染付燭台	1	
	色絵小計	492	
	合計	8168	

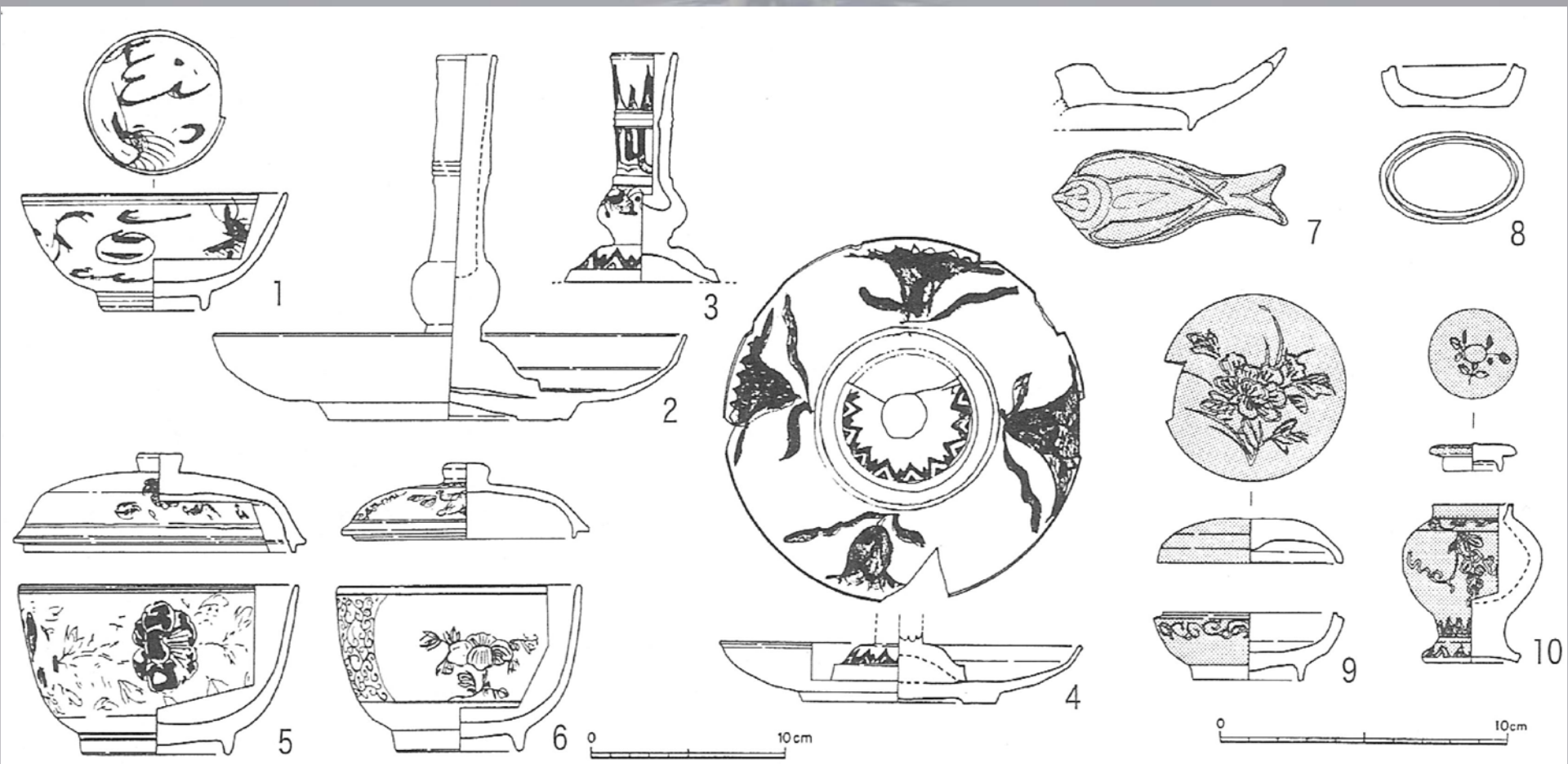
第3表 袋町の陶磁組成

川口洋平「蔵と沈没船(続編)ー移動する陶磁器の比較研究ー」(『貿易陶磁研究』27、2007年)
 p48、第3表

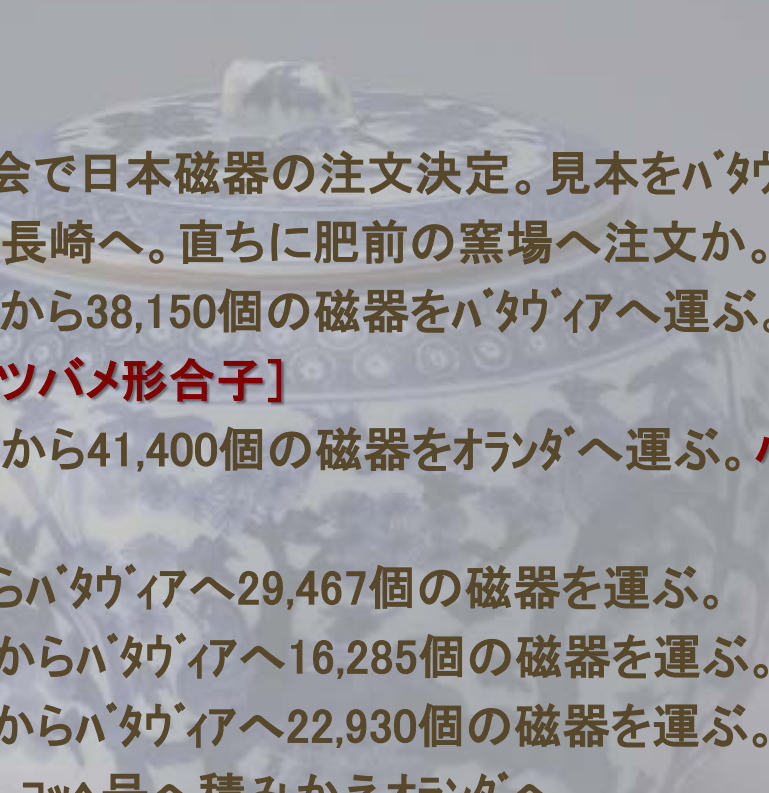
(1) 長崎・栄町遺跡

川口洋平「蔵と沈没船(続編)ー移動する陶磁器の比較研究ー」(『貿易陶磁研究』27、2007年)

p48、第4図袋町出土の肥前陶磁



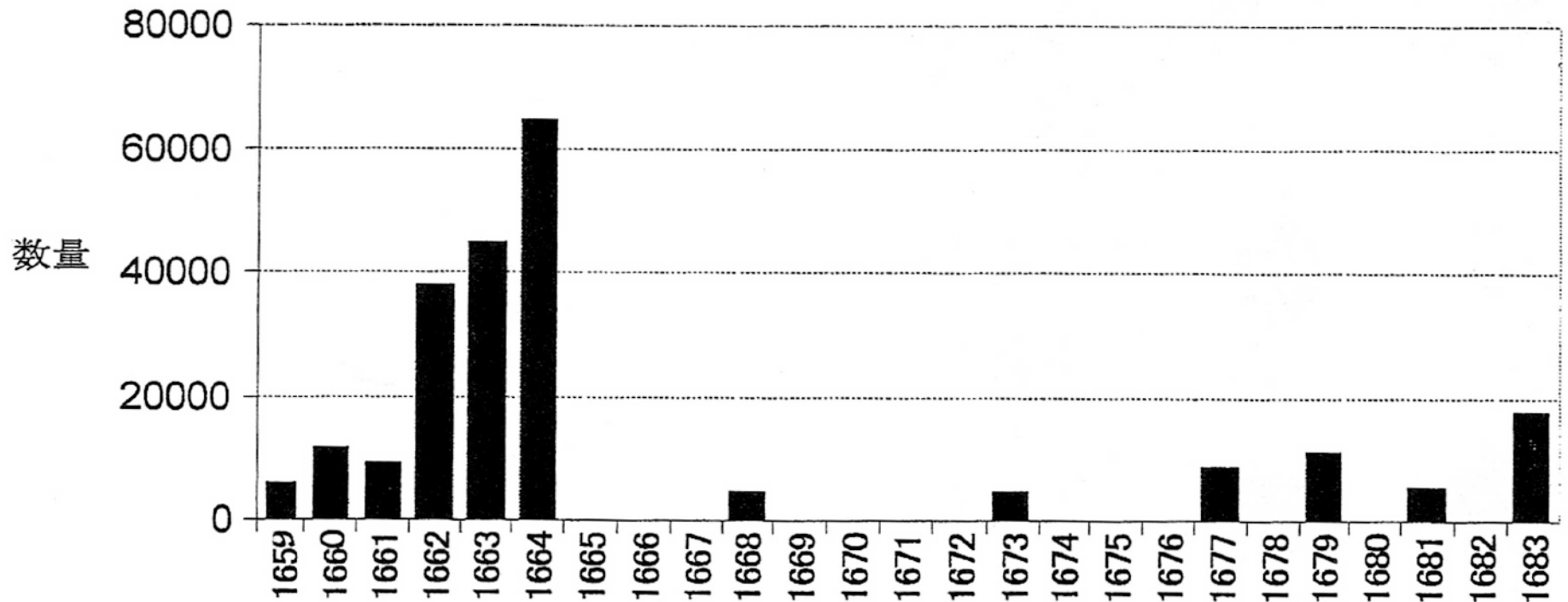
VOCの貿易記録

- 
- 1661年 オランダの17人重役会で日本磁器の注文決定。見本をバタヴィアへ。
- 1662年6月 見本はバタヴィアから長崎へ。直ちに肥前の窯場へ注文か。
- 1662年11月 ブイエンルケ号、長崎から38,150個の磁器をバタヴィアへ運ぶ。**小さな鳥1,703個**
- 1663年3月 長崎で寛文大火。[ツバメ形合子]**
- 1663年11月 フェネブルグ号、長崎から41,400個の磁器をオランダへ運ぶ。**小さな鳥950個、色々な小鳥950個**
- 1664年11月 アルフェン号、長崎からバタヴィアへ29,467個の磁器を運ぶ。
- スパレンダム号、長崎からバタヴィアへ16,285個の磁器を運ぶ。
- 12月 アメロンヘロン号、長崎からバタヴィアへ22,930個の磁器を運ぶ。
- 1665年1月 アルフォン号の磁器は、コッヘ号へ積みかえオランダへ。
- スパレンダム号の磁器は、ワルヘレン号、ディーメルメール号、オイエファール号へ積みかえオランダへ。
- アメロンヘロン号の磁器は、ニューエンホーフェ号に積みかえオランダへ。**小形のツバメ298個**
- 9月 ディーメルメール号、オランダ着。
- 10月 ニューエンホーフェ号、オランダ着。
- 11月 **ワルヘレン号、オイエファール号、オランダ着。**

VOCの貿易記録

川口洋平「蔵と沈没船(続編)ー移動する陶磁器の比較研究ー」(『貿易陶磁研究』27、2007年)

p45、グラフ1 VOCによる肥前陶磁の輸出



VOCによる肥前陶磁の輸出

2. 国際関係の変化と各地に流通する貿易陶磁器

○平戸 ー輸入資料ー

- ・1612年 オランダ商館設置(～40)
- ・1616年 イギリス商館設置(～23)

1616年オランダ商館倉庫造成石垣出土資料



国土地理院地図
<https://maps.gsi.go.jp/>
平戸港周辺

平戸港周辺





















所蔵：堺市教育委員会事務局文化財課

※この資料については、無断での二次利用・複製を禁止します



所蔵：堺市教育委員会事務局文化財課

※この資料については、無断での二次利用・複製を禁止します















2. 国際関係の変化と各地に流通する貿易陶磁器

(4) 琉球

①中世

琉球第二尚氏王朝：15世紀以降東南アジアと
の中継貿易によって隆盛

「明史」には琉球が朝貢した回数が最も多く記載
→高い頻度の朝貢は経済的活動による
繁栄を裏付ける

ex, 首里城、今帰仁城などの出土資料

『明史』に見るアジア諸国の対明朝貢回数

順位	国名・地域名	回数	順位	国名・地域名	回数
1	琉球	171	10	朝鮮	30
2	ベトナム	89	11	オイラート	23
3	チベット	78	12	マラッカ	23
4	ハミ	76	13	日本	19
5	チャンパ	74	14	スマトラ	16
6	シャム	73	15	カンボジア	14
7	トルファン	41	16	ブルネイ	8
8	ジャワ	37	17	バレンバン	6
9	サマルカンド	36			

参考：村井章金『海から見た戦国日本』



※()内の数字は、東南アジアに派遣された琉球船隻状況

2. 国際関係の変化と各地に流通する貿易陶磁器

①中世

- ・東アジア全域と貿易：明の海禁策
- ・朝貢貿易頻度が高い＝ブランドの中国製品が多く集まる

※下賜による朝貢貿易品（官窯製品）
＋中国国内に流通する製品（民窯製品）
＝首里城京の内SK01出土資料



○出土資料 首里城京の内SK01

→1459年の火災？

▪製品の内容

当該期の本土で出土遺物との共通性が高い



※日本を含めた陶磁器貿易のネットワークを構成

15世紀以降博多や堺の商人が来球：銅銭

→東南アジアの物産との交易も可能

2. 国際関係の変化と各地に流通する貿易陶磁器

②近世

琉球王国として独立国＝異なる社会、経済、文化

→中国と日本(薩摩)との関係

※薩摩は16世紀から琉球貿易の独占化を企画

＝ 両属的關係

・1609年薩摩の侵攻・支配

→将軍に使節を送る

謝恩使：琉球王の代替わりに使わされる使節

慶賀使：将軍の代替わりに使わされる使節

・中国との国交一朝貢国(冊封体制)

→ 明朝から清朝に継続

進貢使：中国皇帝に貢物を進貢

冊封使：冊封のために中国皇帝の任命書を持って行く使者

進貢(朝貢)

・沖繩→(海路)→福州→(陸路)→北京

300人

20人

・おおよそ半年間

進貢船:30mを超す大型船2隻

2. 国際関係の変化と各地に流通する貿易陶磁器

○中継貿易の衰退

- 16世紀の西洋諸国の東南アジア進出
- 明朝の衰退
- 17世紀の薩摩の侵攻・支配(1609年)
→ 薩摩の財政難

2. 国際関係の変化と各地に流通する貿易陶磁器

○出土資料

※年代的定点になるような良好な資料は少ない

・沖縄の消費遺跡の特徴:

一括資料が良好な状態で確認されない

廃棄行為の差異・地質の差異

→最も一般的な廃棄方法である「穴を掘って埋める」
という行為が行われない







2. 国際関係の変化と各地に流通する貿易陶磁器

・磁器：貿易品のみ

中国磁器—特に福建・広東の製品—が多く出土
日本(伊万里)が2～3割程度混じる

→日本本土とは大きく需要様相が異なる

cf. 広東碗→上焼→スンカンマカイ(瀬戸、砥部)

































沖縄県立埋蔵文化財センター所蔵



国指定史跡 勝連城跡

Katsuren-jō site National Historical Landmark

二の曲輪 ふたのまがわ Ni no Kuruwa (Second Enclosure)

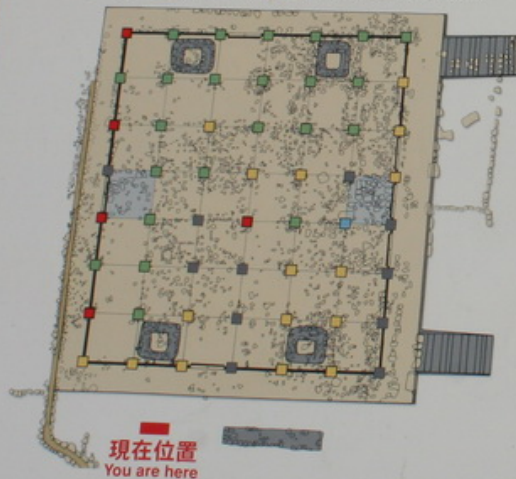
二の曲輪では、正面約17m、奥行き約14.5mの大きな殿舎跡が発見されました。この建物は城の中でもっとも重要な建物であったと考えられています。

礎石のあるしっかりした建物で、屋根は板または草葺きであったと考えられています。周辺からは大和系瓦も発見さ

れることから一部瓦葺きだった可能性もあります。

また、建物の四隅には長方形の石灰岩による石積みが発見されています。この石積みは、建物と同時にあったと考えられていますが、機能についてはわかっていません。

また、二の曲輪の西側には地元で「火の神」と呼ばれている場所があります。



The remains of a large palace 17 meters across the front and 14.5 meters deep were found in this enclosure. It is likely that this was the most important structure in the castle.

This was evidently a solid structure set on foundation stones. Its roof was probably of planks or thatch. However, Yamato, or Japanese style tiles have also been found nearby, so a portion of the roof may have been tile.

Rectangular limestone masonry has also been turned up in the building's four corners. These walls were evidently contemporaneous with the building itself, but their purpose or function is not known.

On the west side of the second enclosure, there is a site known locally as *Hinukan*, god of fire.

ウシヌジガマ Ushinujigama



二の曲輪の北西側の洞穴は「ウシヌジガマ」と呼ばれています。「ウシヌジ」とは、伝説では敵に攻められ、危険なときに身を渡す場所という意味があります。

A cave on the northwest side of the second enclosure is called *Ushinujigama*. According to tradition, the word *Ujiniuji* indicates a place of refuge in time of danger from enemy attack.





















第13回 遺跡研究8

沖縄県立埋蔵文化財センター所蔵











2. 国際関係の変化と各地に流通する貿易陶磁器

・陶器：国産品と貿易品

①琉球陶器：

琉球向け製品と輸出用コンテナ（泡盛）

②中国、タイ、ミャンマー、ベトナム：

貿易品および貿易品のコンテナ→琉球貿易

③日本：

肥前、薩摩の他、瀬戸・美濃、備前、京都・信楽など



(c)OpenStreetMap contributors

2. 国際関係の変化と各地に流通する貿易陶磁器

(5) ゼーランディア、北港(台湾)

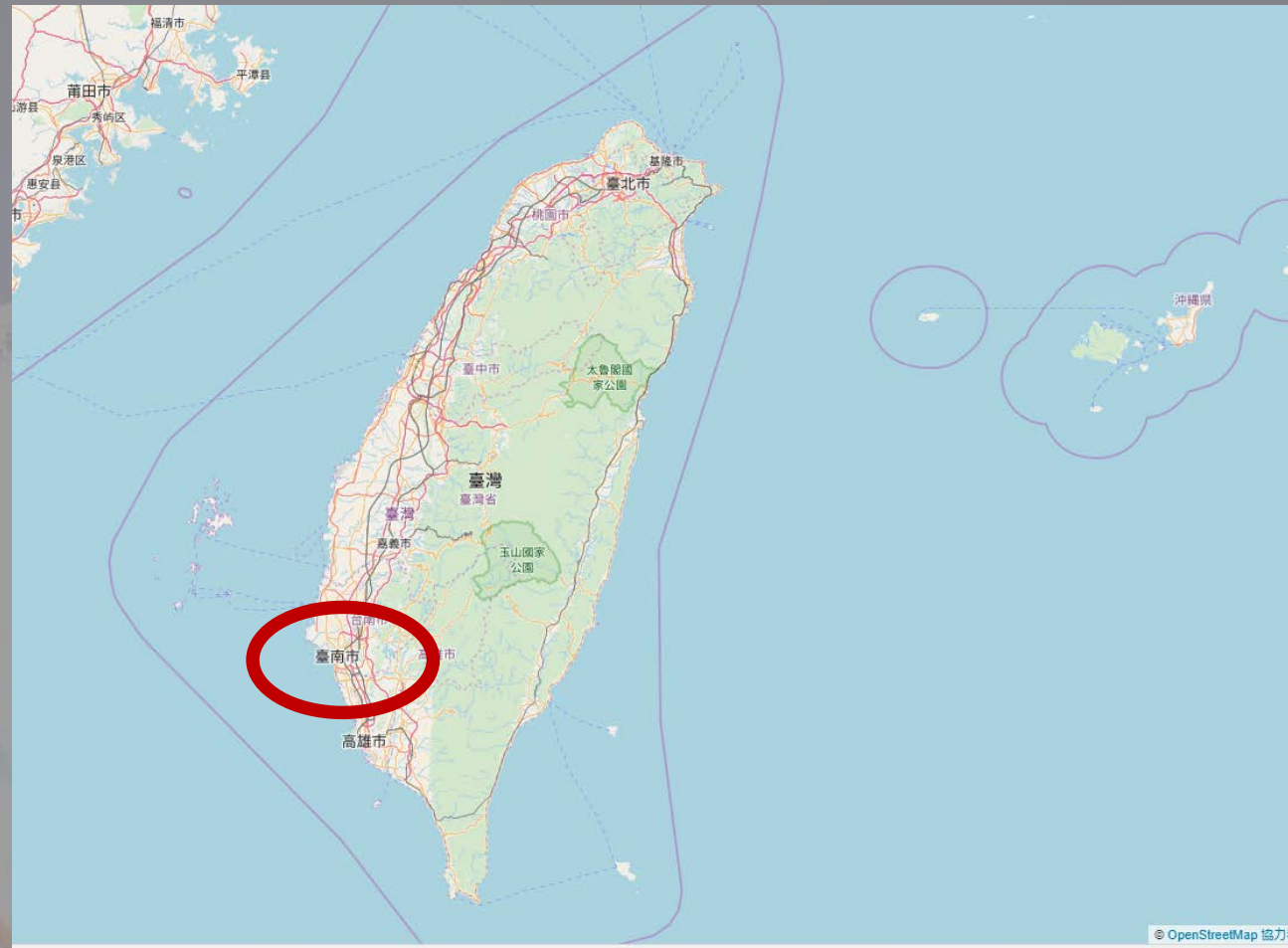
○台湾の歴史

- ・先史時代(-1624)
- ・オランダ統治時代(1624-62)、(スペイン1626-42)
→ゼーランディア(台南市)
- ・鄭氏政権(1662-83)
- ・清朝(1683-1895)
→北港(台湾中部)、社台遺跡(台南市)
- ・日本統治時代(1895-1945)
→台北駅

○清朝の台湾統治

- ・1683 清朝鄭氏から台湾を制圧
 - 当初から領有に消極的「化外の地」
 - 軍事的意味から福建省に編入
 - 1府3県(台南、高雄、嘉義)
- ・移民の禁止(男のみ可)
 - 密航と混血が進行
 - 1811年人口195万人
 - 1893年人口255万人
- ・原住民と居住区を分離
- ・砂糖産業の発展→日本へ
- ・1885 国防上の理由から台湾省設置
- ・1895 日本領に編入(～1945)台湾の歴史

濁手桜花文八角鉢 十四代酒井田柿右衛門作 (Faceted bowl in nigoshi-de porcelain with floral design)
Photo from British museum ref.20180326
http://www.britishmuseum.org/research/collection_online/collection_object_details.aspx?objectId=1477720&partId=1&searchText=kakiemon&page=1
CC BY-NC-SA 4.0



© OpenStreetMap contributors







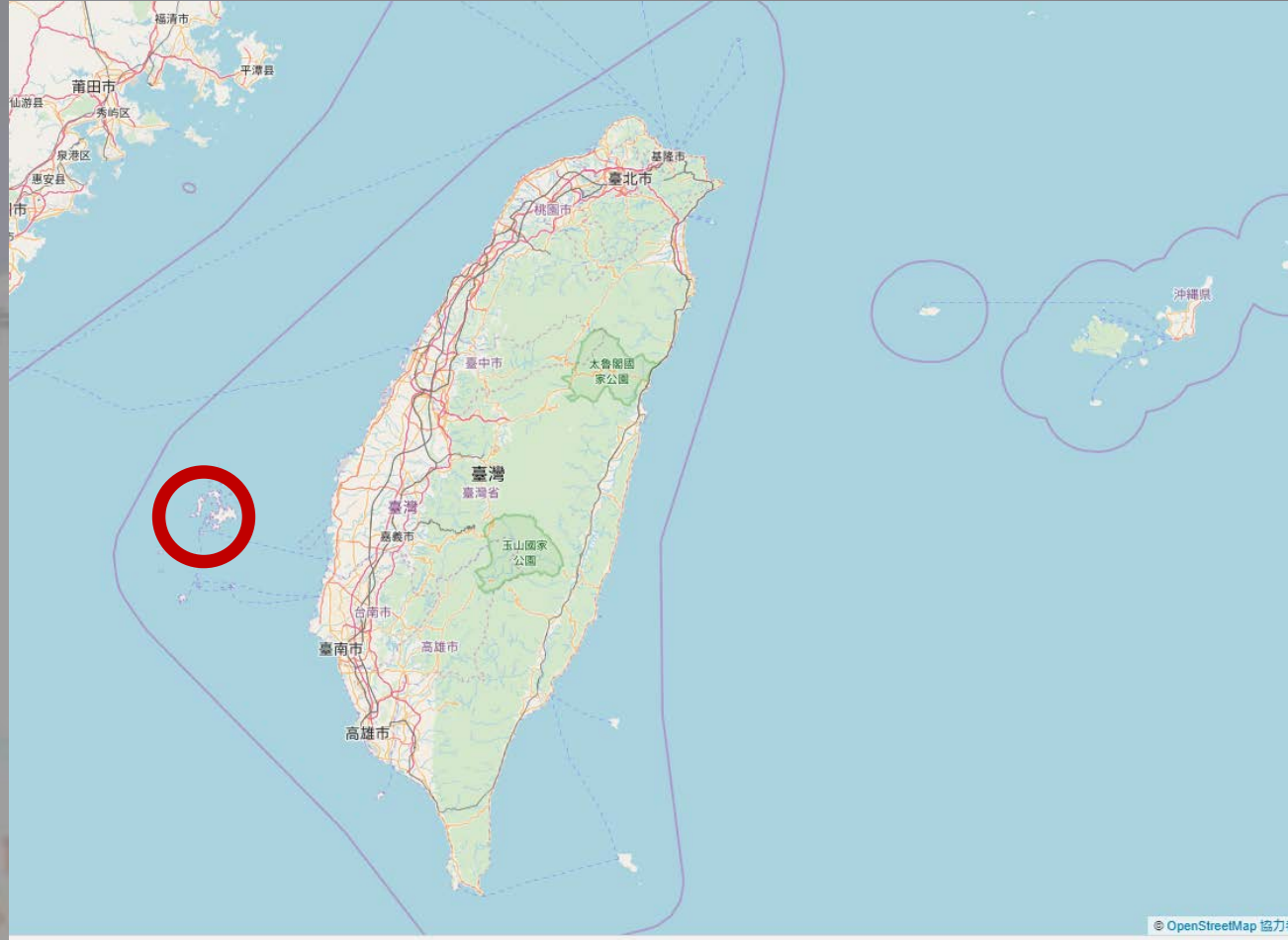








澎湖諸島：17世紀オランダの城



(c)OpenStreetMap contributors

濁手桜花文八角鉢 十四代酒井田柿右衛門作 (Faceted bowl in nigoshi-de porcelain with floral design)
Photo from British museum ref.20180326
http://www.britishmuseum.org/research/collection_online/collection_object_details.aspx?objectId=1477720&partId=1&searchText=kakiemon&page=1
CC BY-NC-SA 4.0

澎湖諸島：17世紀オランダの城



澎湖諸島：17世紀オランダの城

臺灣最早的 「紅毛城遺址」—蛇頭山



蛇頭山位於馬公風櫃尾北端突出的小半島上，與北岸的金龍頭共同扼守馬公灣，形勢險要。明天啓二年(1622)，荷蘭艦隊司令雷爾生突入馬公灣後，曾在蛇頭山興建台灣第一座西式城堡。後來的明、清、日治與國民政府也曾先後在山丘上整修過砲堡，目前尚留有殘跡。

The Earliest "Dutch Castle Relics" in Taiwan-Shetou Hill

Shetou Hill (like snake head) lies in the north of Fongguei tail of Magong, and guards the Magong bay with Jinlongtou. It is an important fortified point. In 1622 during the Ming Dynasty, the Dutch admiral Mr. Raiersson built the first western style castle in Shetou Hill after he successfully occupied Magong. Currently, people can still see some fortresses relics, which were built or repaired during the Ming, Qing Dynasty, Japanese and the present government.



交通部觀光局澎湖國家風景區管理處
PENGHU NATIONAL SCENIC AREA ADMINISTRATION

澎湖諸島：17世紀オランダの城



澎湖諸島：17世紀オランダの城



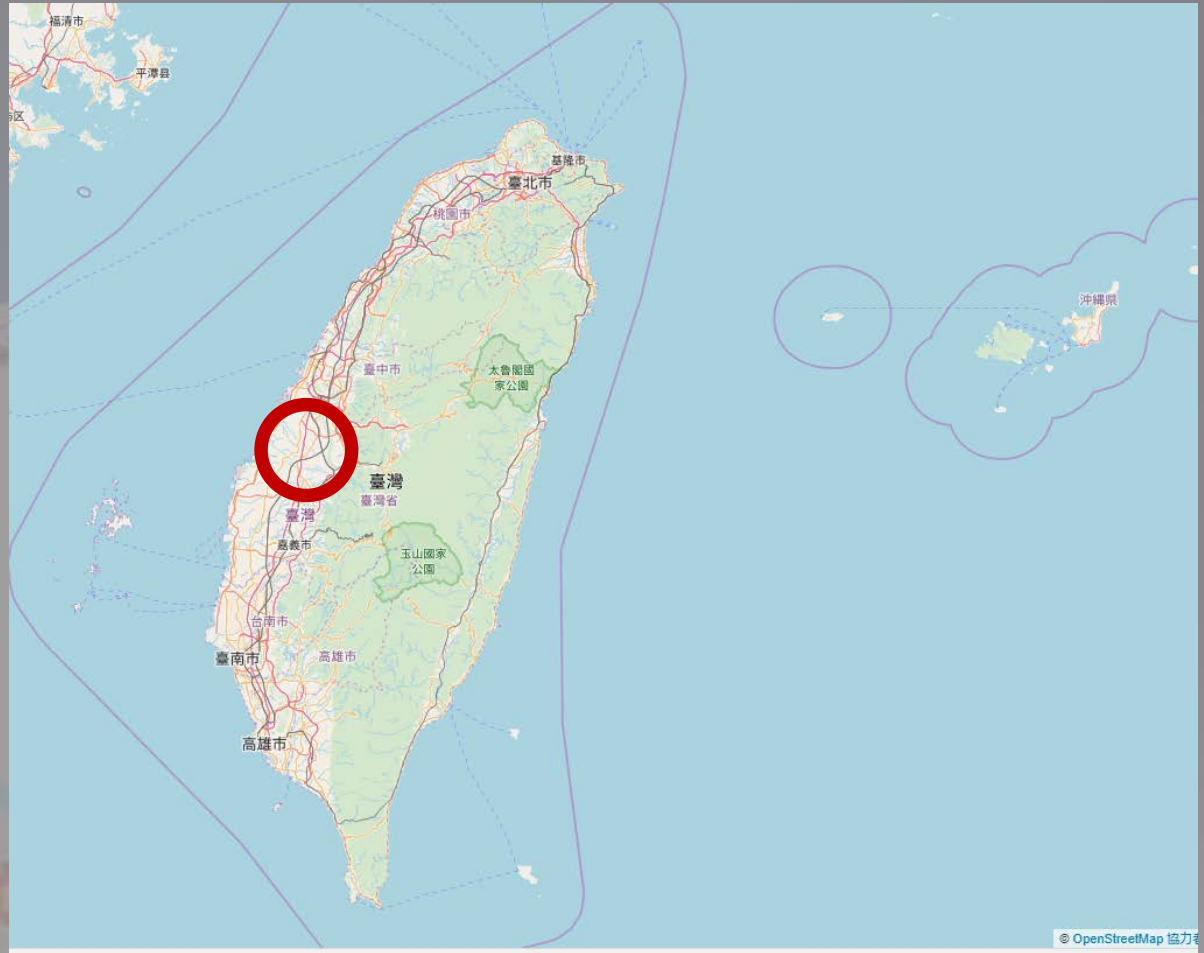
②北港遺跡

※近世後期の台湾の流通ルート
メインゲート：基隆、彰化、高雄



中継港
中心に繁栄、
開土

北港：18世紀後半～の貿易港



(c)OpenStreetMap contributors

濁手桜花文八角鉢 十四代酒井田柿右衛門作 (Faceted bowl in nigoshi-de porcelain with floral design)
Photo from British museum ref.20180326
http://www.britishmuseum.org/research/collection_online/collection_object_details.aspx?objectId=1477720&partId=1&searchText=kakiemon&page=1
CC BY-NC-SA 4.0

北港：18世紀後半～の貿易港

國立臺南藝術大學 盧泰康先生



北港：18世紀後半～の貿易港

國立臺南藝術大學 盧泰康先生



北港：18世紀後半～の貿易港

國立臺南藝術大學 盧泰康先生



2. 国際関係の変化と各地に流通する貿易陶磁器

(6) ホイアン(ベトナム)

- ・阮朝(1558–1777)の国際貿易港として発展
- ・ポルトガル、オランダ(1623-39)、日本(1601-35)、
中国の貿易拠点が成立
- 清朝の遷海令(1661)前後から日本磁器が確認
徐々に衰退

2. 国際関係の変化と各地に流通する貿易陶磁器

(6) ホイアン(ベトナム)

ex, 日本橋周辺の出土資料

17世紀前半以前: 中国景德鎮の上質磁器を含む

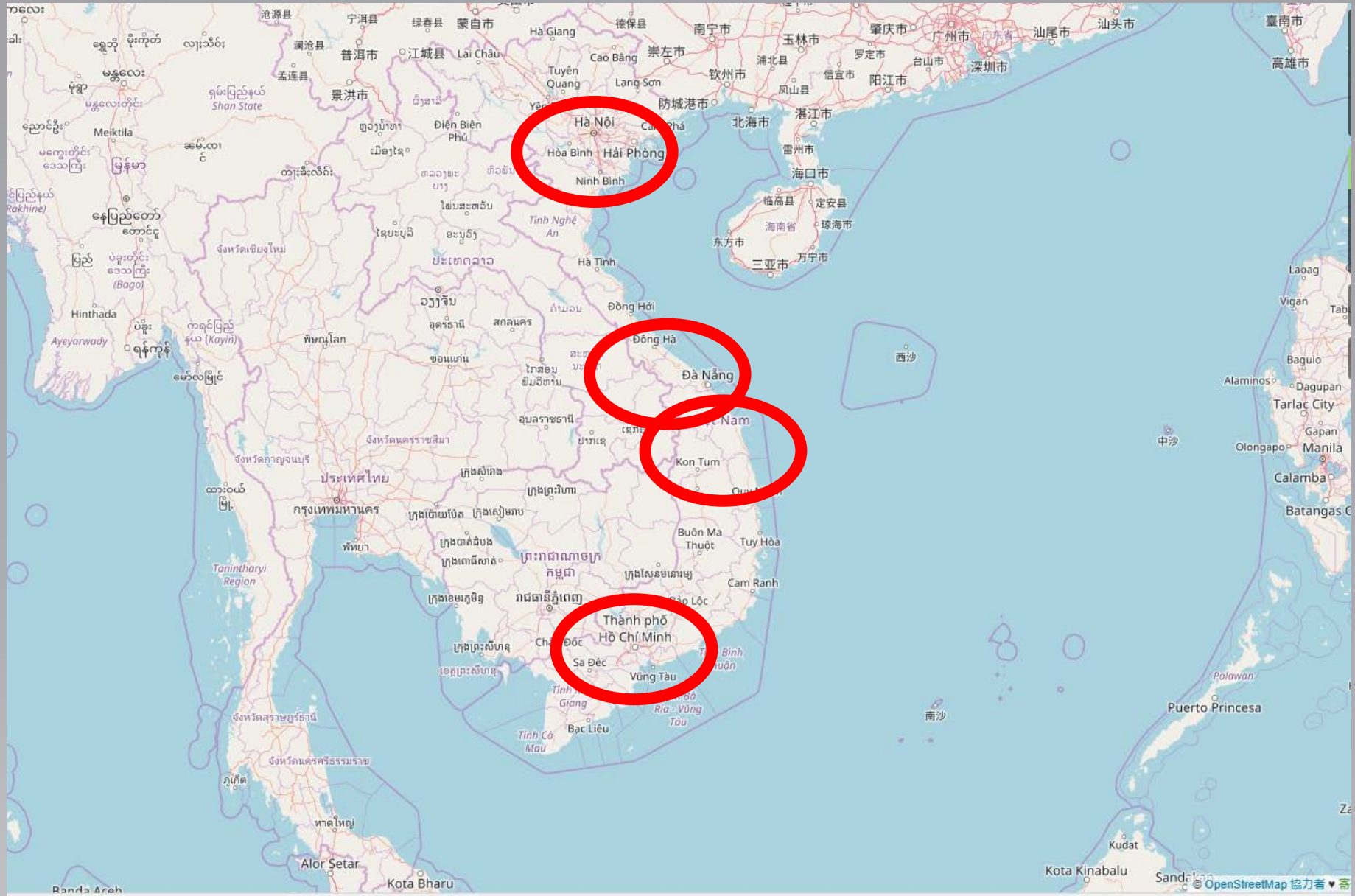
→ 貿易品

17世紀後半: 日本の伊万里が出土

→ 貿易品か？

18世紀以降: 中国福建の粗製碗などが主体

→ 生活用品か？



(c)OpenStreetMap contributors









02

03

04

HIỆN VẬT SỨ PHÚC KIẾN, QUẢNG ĐÔNG TRUNG QUỐC.
CUỐI TK 16 - ĐẦU TK 17

FUJIAN, QUANG TONG CERAMIC ARTIFACTS (CHINA).

LATE 16TH CENTURY - FIRST 17TH CENTURY

LES OBJETS ANCIENS EN PORCELAINE DE FUJIAN, CANTON DE LA CHINE.

FIN DU 16^E SIÈCLE - DÉBUT DU 17^E SIÈCLE

01. Mảnh vôi bình
Fragment of vase
Débris d'un pot

02. Mảnh bát
Fragment of bowl
Débris d'un bol

03. Đĩa
Dish
Disque

04. Chén
Bowl
Bol

HIỆN VẬT KHAI QUÁT TẠI DI CHỈ ĐÌNH CẨM PHỒ
ARTIFACTS FROM CAM PHO COMMUNAL HALL ARCHEOLOGICAL SITE
LES OBJETS ANCIENS TROUVES AU SITE ARCHEOLOGIQUE DE LA
MAISON COMMUNALE DE CAM PHO



01

02

HIỆN VẬT SỨ CẢNH ĐỨC TRẦN TRUNG QUỐC
JINGDEZHEN CERAMIC ARTIFACTS (CHINA)
LES PIÈCES DE PORCELAINES JINGDEZHEN (CHINE)

01. Mảnh chén. Cuối TK 17 - đầu TK 18
Fragment of bowl. Late 17th century - first 18th century
Débris d'un bol. Fin du 17^e siècle - Début du 18^e siècle
02. Chén. Cuối TK 16 - đầu TK 17
Bowl. Late 16th century - first 17th century
Bol. Fin du 16^e siècle - Début du 17^e siècle



SÚ HIZEN (NHẬT BẢN). NỬA SAU TK 17
Hizen Ceramic (Japan). Mid 17th - Late 17th century
Céramique Hizen (Japon). Fin du 17^e siècle





Dĩa nửa sau TK 17
Dish. Mid 17th - Late 17th century
Disque. Fin du 17^e siècle



06.HA.Hi.L9 (K-20)
16.NTMK No.158
27/08/06



06 HA.H1.L1.
(16NTMK)
福建広東 18~19c
Ⅳ 磁器
実測



06.HA.HI.LI
(16 NTMK)
Fujian (Lantau)
18-19 cent.
Bowl porcelain
1/4



2. 国際関係の変化と各地に流通する貿易陶磁器

(7) アユタヤ(タイ)

- ・アユタヤ王朝(1351-1767)の首都として発展
- ・ポルトガル(1516-)、オランダ(1592-)、日本(16C後葉-1635)、イギリス・フランス(17C後半-)
- ・日本人勢力が拡大→山田長政

2. 国際関係の変化と各地に流通する貿易陶磁器

(7) アユタヤ(タイ)

※国際交易の拠点、消費都市としての性格

ex, オランダ商館跡出土資料

17世紀前半: 中国景德鎮・漳州の上質な磁器が含まれる

→貿易品

17世紀後半: 日本(伊万里)磁器が含まれる

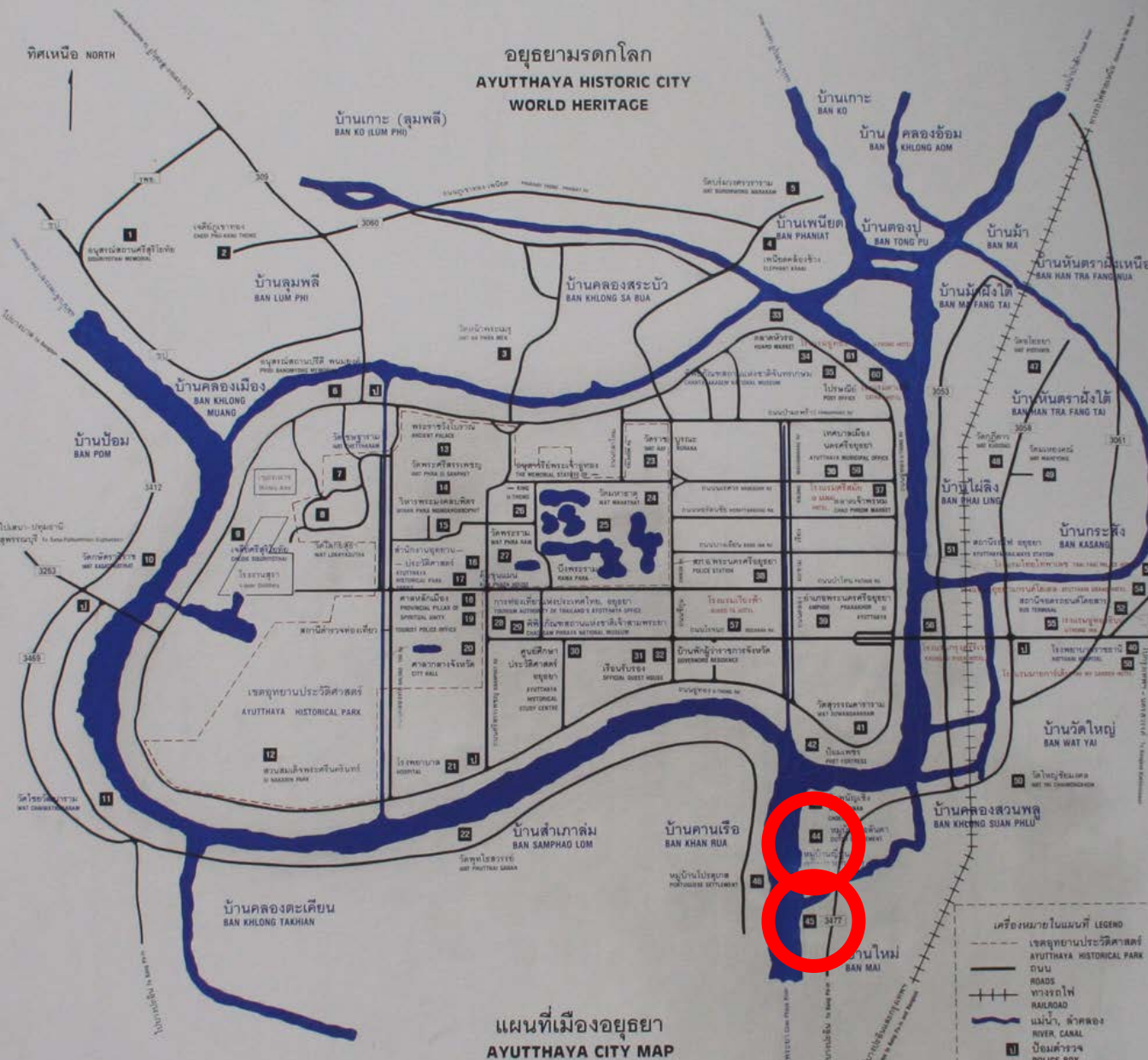
→貿易品か？

タイ アユタヤ オランダ商館跡



by あなん from Wikimedia Commons
https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%95%E3%82%A1%E3%82%A4%E3%83%AB:LocMap_of_WH_Ayutthaya.png
ref. 20171227
GFDL

แผนที่ท่องเที่ยวจังหวัดพระนครศรีอยุธยา AYUTTHAYA TOURIST MAP

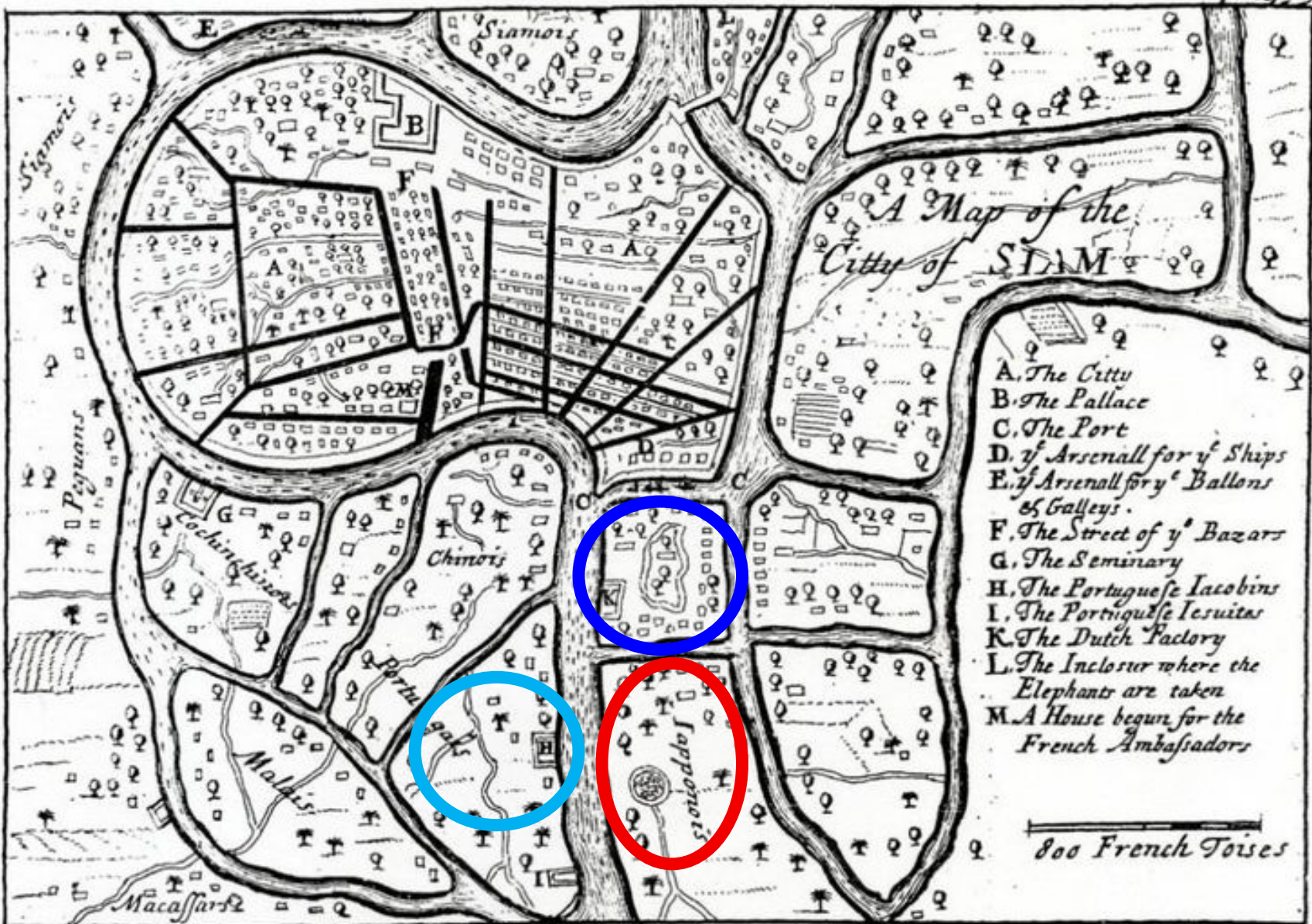


แผนที่ท่องเที่ยวจังหวัดพระนครศรีอยุธยา AYUTTHAYA TOURIST MAP



แผนที่ท่องเที่ยวจังหวัดพระนครศรีอยุธยา AYUTTHAYA TOURIST MAP





from Wikimedia Commons









濁手桜花文八角鉢 十四代酒井田柿右衛門作 (Faceted bowl in nigoshi-de porcelain with floral design)
Photo from British museum ref.20180326
http://www.britishmuseum.org/research/collection_online/collection_object_details.aspx?objectId=1477720&partId=1&searchText=kakiemon&page=1
CC BY-NC-SA 4.0



オランダ商館の建物基礎



オランダ商館の建物基礎レンガ



VOC Pocerlane



VOC Pocerlane



3. 貿易ネットワークと流通ブロック

陶磁器生産と消費の類型化

①中国ブロック

- 磁器：自国＋輸出
- 陶器：自国＋輸出

②東南アジアブロック

- 磁器：輸入
- 陶器：自国（ベトナム・タイなど）、輸入

③日本ブロック

- 磁器：自国（＋輸出：17世紀中葉）
- 陶器：自国

3. 貿易ネットワークと流通ブロック

①中国ブロック

磁器・陶器ともに国内生産で国内の需要を充当



国外に陶磁器を輸出

3. 貿易ネットワークと流通ブロック

①中国ブロック

◎主な生産窯

○磁器窯

景德鎮窯

福建・広東諸窯（漳州窯、徳化窯、東溪窯、潮州窯など）

○陶器窯

宜興窯

田坑窯

3. 貿易ネットワークと流通ブロック

②東南アジアブロック

自国で磁器生産を行っていない

→磁器を外国（主に中国）から輸入している。

3. 貿易ネットワークと流通ブロック

③日本ブロック

自国で磁器生産を開始(1610年代～)
磁器・陶器共に自国で生産・消費

東アジア陶磁器貿易模式図



(c)OpenStreetMap contributors

3. 貿易ネットワークと流通ブロック

※ 日本ブロックの成立→近世的様相

文化財(「世界遺産」、「文化遺産」)としての
評価視点は遺跡単位で行われる

→これまでは地域として評価

3. 貿易ネットワークと流通ブロック

※ 日本ブロックの成立→近世的様相

文化財(「世界遺産」、「文化遺産」)としての
評価視点は遺跡(小地域)単位で行われる

→しかし、こうした遺跡は、他地域と複合的・
有機的に機能するシステムの一部

3. 貿易ネットワークと流通ブロック

※アユタヤ(3)、ホイアン(2)、琉球(2)、(3)、(6)

※場の情報に加えて、他地域との対比、影響を踏まえて評価を行うべきだろう

○痕跡化した行為

→種々の「資料」(=文化資源)となる